

SONY

PTZオートフレーミングカメラ
SRG-A40 / SRG-A12
オープン価格

Exmor R

AIアナリティクスによって人物を追いかけて、自然な構図で撮影。
講演会の撮影から、大学における講義配信、球技スポーツ撮影まで、
さまざまな場面で活躍する、“PTZオートフレーミングカメラ”。



導入事例を
ご覧いただけます



●掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません

sony.jp/remote-camera/

“撮る”カメラから“撮ってくれる”カメラへ。



旋回およびズームのロボティクスを内蔵し、遠隔制御による撮影が可能なりモートカメラ。

そのリモートカメラにAIアナリティクスを搭載することで、カメラが自動的に人物を追いかけて、自然な構図で撮影してくれる“PTZオートフレーミング機能”を実現しました。

AIとロボティクスが出会うことで、これまで“人が操作して撮るカメラ”であったリモートカメラは、AIが自然な構図で撮影してくれる、“撮ってくれるカメラ”へと進化します。

“PTZオートフレーミング機能”とは

AIアナリティクスを活用することで、被写体(人物)をカメラが自動で追尾し、自然な構図で自動調整しながら撮影を行う、それが「PTZオートフレーミング機能」です。カメラに搭載されたソニー独自のAIアルゴリズムがリアルタイムに骨格検出や頭部位置検出、特徴マッチングなどを行うことで、常に自然な画角を維持します。また一方で、軽なお辞儀など被写体の微細な動きにはカメラが細かく動くことはなく、なめらかで自然なカメラワークを実現します。

捉えられる被写体は1人はもちろん、2人以上の複数人のフレーミングにも対応。事前に登録した人物の“顔”で被写体を選択できる顔登録機能や、捉えた人物のサイズや構図を撮影中リアルタイムに変更することも可能です。

新たにリリースするVer. 4.0では、顔を中心にしたクローズアップ構図の対応や、JPEGファイルからの登録が可能になった「顔登録機能」など、お客様の撮影現場のニーズに応える機能の向上を行いました。

複数人フレーミング機能

最大8人までの指定した人数が同時にフレームに収まるよう調整し、自然な構図で撮影します。指定ができるのはメインとなる被写体のみで、サブの被写体はメインの被写体に近い順にカメラが自動で選択し、フレーミングを行います。

ご注意：

- ・サブの被写体を任意に選択することはできません
- ・想定する被写体以外の人物が画角に入らない環境でご利用ください
- ・指定した画角／構図を維持するよう構図調整がされますが、指定した人数が画角内に収まることを最優先してフレーミングが行われます



サブ被写体
(2人～最大8人まで)

メイン被写体
(1人)



骨格検出技術

また、高度なトラッキング技術により、球技スポーツを俯瞰映像で自動撮影を可能にする「球技モード」を新たに搭載。自動撮影の世界を新たな領域へと進化させます。

顔登録機能

あらかじめカメラで撮影した人物の顔を登録しておくことで、登録された人物が検知エリアに入った場合、自動的にフレーミングを開始します。追尾対象とは異なる人物を追尾してしまった場合には、AIが別人と判断したタイミングで正しい被写体を追尾し直す機能も搭載されています。(別人判定機能) 顔登録は人物が映ったJPEGファイルからも登録が可能になりました。また、登録した顔画像の管理機能が追加されています。[Ver. 4.0で対応]

ご注意：

- ・複数人フレーミング時に、顔登録機能でマッチングできるのは「メインの被写体」のみです。2人目以降の「サブの被写体」の検知には機能しません



- ・最大40名まで登録可能
- ・メイン被写体の優先順位付けも可能

オートフレーミング機能に関するご注意

オートフレーミング機能の性能は画面内に映り込む人数や人が動く速さ、人と人との重なり方や交差の仕方などにより影響を受けます。

ご利用目的にあったオートフレーミング性能が得られることを十分ご確認の上、ご利用ください。

「球技モード」で撮影できるのは、屋内での5人制バスケットボールの試合の俯瞰映像のみです。(3 on 3には非対応)

また性能を引き出すためにはカメラの設置位置など条件を満たす必要があります。詳細については製品ホームページ、取扱説明書をご覧ください。

追尾範囲

撮影したい画角の中に、PTZオートフレーミング機能を実行する範囲を設定できます。被写体の人物が範囲から出ると、画角は自然にホームポジションに戻ります。追尾対象を範囲内に絞ることで、捉える被写体を自動で切り替えたり、意図しない人物を対象から除外することも可能です。



詳細な画角調整と構図プリセット

被写体の人物のサイズ・位置を、Web UIから直感的な操作で設定ができます。サイズは全身からクローズアップ(バーストショット)まで30段階で設定でき、画面内の上下左右どの位置に人物を配置するかとあわせて、詳細な調整がPTZオートフレーミング実行中でも可能です。さらに被写体の顔を中心にした構図撮影も可能となり、人物の表情を捉えることが可能になりました。[Ver. 4.0で対応]
また、あらかじめ任意の構図を3つまでプリセットし、瞬時に呼び出すことも可能。付属の赤外線リモコンからでも呼び出せます。

※ボタン1・2・3には、「全身」、「上半身」、「クローズアップ」がデフォルトで登録されています

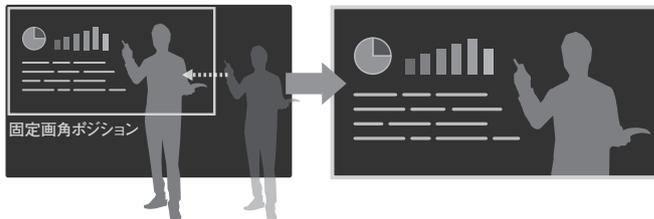


固定画角ポジション

事前に設定した“固定画角ポジション”に被写体が入ると、PTZオートフレーミングを一時停止し、設定した画角に自動で遷移します。被写体が設定したポジションを出るまで画角を固定します。

※設定できる画角は1つのみです

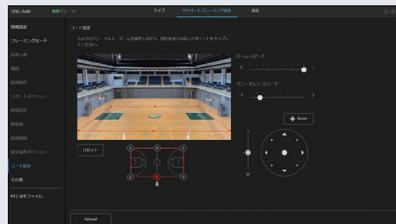
黒板やスクリーンなど、人物より優先して視認させたい画角がある場合、人物の追尾とフォーカスしたい画角をカメラが自動で切り替えて撮影します。オンライン参加の人も板書の文字や表示されている資料が動かず、ストレスなく視聴できます。



球技モード(バスケットボール)に対応

Ver. 4.0にて新たに搭載された「球技モード」により、球技スポーツの自動撮影が可能です。対応する球技は「バスケットボール」で、AIが「コートエリア」、「プレイヤー」、「ボール」をリアルタイムで認識し、コードサイトからの俯瞰視点でフレーミングすることで、試合の流れを鮮明に捉えます。

従来の被写体トラッキングとは異なり、高度なトラッキング技術の採用で、ボールの高速かつ不規則な動きにも対応し、常に最適なフレーミングを実現します。



直観的なUI設定で簡単に撮影が可能

「球技モード」の詳細

<https://www.sony.jp/remote-camera/spl/ball-sports/>



優れた画質性能と高倍率ズーム搭載

● 4K対応裏面照射型CMOSイメージセンサー“Exmor R”搭載で、人物の表情や板書の文字も高精細に捉えます。

● 光学20倍、超解像40倍*1 (SRG-A12は光学12倍のみ)の高倍率ズームを備え、ホールの後方からでも演者の表情をしっかりと捉えることができます。フルHD解像度の場合には、テレコンバートモード*2を利用することでズーム倍率をさらに2倍に伸ばすことができます。



×1
標準モード

光学ズーム ×20

超解像ズーム ×40

*1: 4K解像度の場合、超解像30倍

*2: テレコンバートモードはフルHD解像度の場合のみ利用可能です。4K解像度の場合テレコンバートモードは利用できません

×2
テレコンバートモード

光学ズーム ×40

超解像ズーム ×80

※SRG-A40の場合

その他の主な特長

- 最大100個まで登録・呼び出しできるプリセット機能*を搭載
- PoE++対応により、LANケーブル経由での給電が可能
- RTSPのほか、SRT、NDI|HXなどさまざまな映像配信プロトコルに対応
- 低照度時はモノクロ映像に切り替え、暗所でも撮影を可能にするDay&Night機能を搭載

- オートフレーミング中であることを知らせるタリールランプを装備
- 赤外線リモコン同梱
- NDI|HXに標準対応

*: リモートコントローラー [RM-IP500] による操作の場合。呼び出しできるプリセットの数は使用するリモコンの種類や方法によって変わります。付属の赤外線リモコンの場合は3、Webブラウザや外部コマンドによる制御の場合は256となります

主な仕様

	SRG-A40	SRG-A12
カメラ部		
映像信号	3840×2160/29.97p、25p、23.98p 1920×1080/59.94p、50p、29.97p、25p、23.98p 1920×1080/59.94i、50i 1280×720/59.94p、50p	
映像出力方式	3G-SDI ^{*1} / HDMI / IPストリーミング	
撮像素子	1/2.5型 Exmor R CMOS イメージセンサー	
有効画素数	約850万画素	
ズーム比	光学20倍、超解像40倍(フルHD解像度)/30倍(4K解像度) (テレコンバートモード時:光学40倍、超解像80倍(フルHD解像度)) ^{*2}	光学12倍(テレコンバートモード時:光学24倍) ^{*2}
焦点距離	f=4.4mm(ワイド端)～88.0mm(テレ端)	f=4.4mm(ワイド端)～52.8mm(テレ端)
F値	F2.0(ワイド端)～F3.8(テレ端)	F2.0(ワイド端)～F3.7(テレ端)
水平画角	約70度(ワイド端)	
最短撮影距離	80mm(ワイド端)～800mm(テレ端)	80mm(ワイド端)～400mm(テレ端)
最低被写体照度	1.6ルクス(50IRE F2.0 シャッタースピード1/30秒 高感度モードOFF)	
シャッタースピード	1/1～1/10000秒	
Day&Night機能	○	
パン駆動範囲	±170度、最大速度300度/秒	
チルト駆動範囲	+90度～-20度、最大速度126度/秒	
プリセットポジション	256(CGI) / 100(VISCA)	
ネットワーク部		
映像圧縮方式	H.265 / H.264 ^{*3}	
対応プロトコル	IPv4、IPv6、TCP、UDP、ARP、ICMP、HTTP、HTTPS、DHCP、DNS、RTP/RTCP、RTSP、RTMP/RTMPS、VISCA over IP、SRT、NDI HX	
音声圧縮方式	AAC-LC(128kbps/256kbps)	
LAN端子	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-TX(RJ-45)	
インターフェース部		
外部インターフェース	3G-SDI(BNC)×1 ^{*1} 、HDMI(Type-A)×1、VISCA RS-422(RJ-45) In/Out各1、LAN(RJ-45)×1、音声入力×1(プラグインパワー)	
制御インターフェース	VISCA over IP、VISCA RS-422、CGI	
一般		
対応OSおよびWebブラウザ	Windows 10 64ビット(Chrome)、Windows 11 64ビット(Chrome)、 Windows 10 64ビット(Edge)、Windows 11 64ビット(Edge)、macOS 11(Chrome)、macOS 12(Chrome)	
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約156.7×184.0×200.0mm(突起部含まず)	
質量	約2.0kg	
電源	DC19.5V(ACアダプター付属)、PoE++(IEEE802.3bt Type4 Class8)	
消費電力	80W(ACアダプター使用時) / 71.3W(PoE++動作時)	
動作温度	0～40℃	
付属品	AC電源アダプター(1)、電源コード(1)、赤外線リモコン(1)、シーリングブラケットA(1)、シーリングブラケットB(1)、 ワイヤーロープ(1)、取付用ネジ(M3×8)(9)、取付用ネジ(M2.6×6)(1)、 HDMIケーブル抜け止めプレート(1)、安全のために(1)、保証書(冊子)(1)	

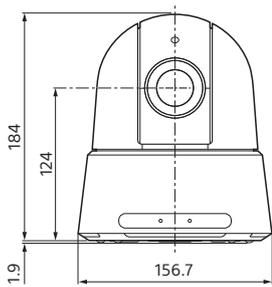
*1: 3G-SDIの場合、最大解像度は1920×1080ピクセルとなります

*2: テレコンバートモードはフルHD解像度時のみ利用可能です。4K解像度の場合、テレコンバートモードは利用できません

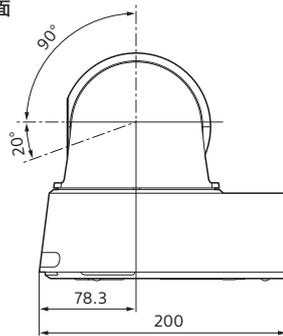
*3: SRTはH.264のみの対応となります

外形寸法図 (単位: mm)

正面



側面



背面端子部



対応アクセサリ

リモートコントローラー

RM-IP500

希望小売価格 429,000円(税込)

※別売のAC電源アダプター「AC-UES1230MT」が必要です



安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

カタログ上の注意 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります 商標について ●「ソニー」および「SONY」は、ソニーグループ株式会社の登録商標です。その他記載されている各社の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト

sony.jp/pro/



ソニーマーケティング株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・一部のIP電話からは050-3754-9550

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

OP/EXOP-1 Printed in Japan. (84982128)

2026.4

カタログ記載内容2026年4月現在

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用